第１回 地域共生社会推進セミナー

～住み慣れた地域で暮らし続けるには～

１　趣　　旨

本県では、少子高齢化の進行により、８０５０や頼れる身寄りがいない高齢者等の社会的孤立など複合化・複雑化した問題が顕在化している一方で、急速な人口減少とともにバス路線の廃止や商店等の閉鎖など地域の環境が様変わりしてきています。

こうした中、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、住民自らが主体となって支え合い・助け合う地域共生社会の実現が望まれます。そこで、地域住民一人ひとりが地域の問題を自分の事として捉え、私たちに“何ができるか”を考える機会とするため本セミナーを開催します。

２　主　　催　　社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会

３　日　　時　　令和８年１２月９日（水）

４　会　　場　　秋田県社会福祉会館　１０階 大会議室
〒010-0922 秋田市旭北栄町１－５　TEL：018-864-2700

５　参加対象　　本セミナーに関心のあるすべての県民

６　参加定員　　８０名（先着）

７　参 加 費　　無料

８　参加申込

以下申込フォームにより１１月３０日（金）までにお申し込みください。フォームでのお申し込みが難しい場合は別紙参加申込書をお送りください。

申込フォーム：https://forms.gle/EgDYd4cfhg672tyi8

9　内　　容

❒ 12:15～　　受　付

❒ 13:00　　開会・オリエンテーション

❒ 13:05～15:00　　講　義

「身近な生活課題の解決へ、仲間づくりの第一歩」

「あなたが大怪我をして歩けなくなったら、ゴミ出しはどうしますか？」

「高齢の両親が免許を返納したら、日々の買い物や通院はどうしますか？」

身近に起こり得る様々な問題は、住民主体で解決してほしいと言われる時代です。地域で実際に起きていることについて、クイズ形式などで理解を深め、「支え合い」を実現するヒントや、今日からできる小さな一歩を考える機会とします。

※途中休憩あり

❒ 15:00　　閉　会

講　師

岩手大学人文社会科学部　客員准教授　　船戸（ふなと）　義和（よしかず）　氏

東日本大震災の復興支援では、岩手県陸前高田市・大船渡市・大槌町・山田町等で災害公営住宅等における住民主体のコミュニティ形成を実践。自治会設立・運営等の地域づくりとともに、住民同士の「緩やかな見守り・共助」が「公助」との相乗効果を生む地域力の強化に注力している。

岩手県 被災地コミュニティ支援アドバイザー、NPO 法人いわて連携復興センター コミュニティアドバイザーほか。岩手県盛岡市在住。

〔問い合わせ・申込先〕

社会福祉法人　秋田県社会福祉協議会
地域共生推進部　／柴田、佐々木
〒010-0922　秋田市旭北栄町１－５（秋田県社会福祉会館１階）
(TEL)018-864-2714　(FAX)018-864-2742　(E-mail)chiiki@akitakenshakyo.or.jp

このフォーラムは、赤い羽根共同募金の助成を受けて開催します。